教育委員会

学校・地域が一体となった安心網
～子どもたちの安全な学校生活のために～

教育委員会では、学校における危機管理と安全指導の充実を目指して、児童生徒の防犯・防災の意識を高めるため、さまざまな取り組みをしています。市内すべての小中学校で、安全教育や防犯教育の徹底を図り、事故防止に万全を期しています。

また、地域の皆さまにも安全対策にご支援をいただいています。

■学校における安全教育の充実

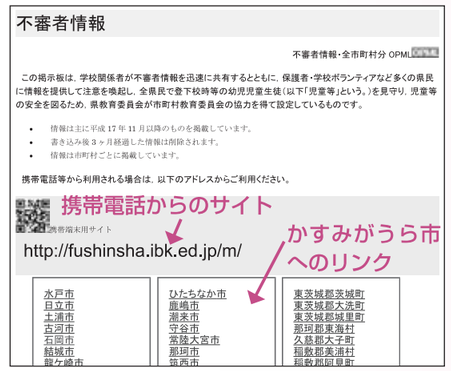
小中学校では、火災や地震などに備えた避難訓練に加えて、不審者侵入に対応するための訓練を実施し、学校内における事故の未然防止に努めています。

また、学校への不審者侵入に備えて、門扉の管理を十分に行なうとともに、各学校では「危機管理マニュアル」に基づいて、警察などの関係機関と協力し、不審者侵入時の連絡体制などを整えています。

■不審者情報について

茨城県教育委員会および茨城県警では、不審者情報の共有と注意喚起のために、不審者に関する情報をホームページ上で発信しています。各学校では、毎日情報をチェックするとともに、この情報に基づいて、さまざまな場面を想定した具体的な指導に取り組んでいます。

◉茨城県教育委員会ホームページ
http://www.edu.pref.ibaraki.jp/board/index.htm から「不審者情報の掲示板」のリンクへ



◉茨城県警ホームページ
http://www.pref.ibaraki.jp/kenkei/topics.htm

■安全な登下校のために

児童生徒の登下校中をはじめ、日常生活において、不審者による事故に遭わないよう、『イカのおすし』を合言葉に、低学年から「自分の身は自分で守る」ことを意識させる指導を進めています。

㋑㋕…行かない（ついて行かない。危ない所に行かない。）

㋬…乗らない（誘いにのらない。）

㋮…大きな声で叫ぶ。

㋷…すぐ逃げる。

㋦…知らせる。（大人に知らせる。）

また、登校時における教員、保護者、ボランティアの立哨に加えて、土浦警察署員、スクールサポーター、スクールガードリーダー、教育委員会などの関係機関が連携し、市内全域のパトロール巡視を行なっています。

さらに、市内には約千百軒の「一一〇番の家」があり、非常時に子どもが助けを求めることができるよう協力をいただいています。

非常時にはかけこみができる「110番の家」の前に掲げてある看板

歴史探訪

《かすみがうら市人物列伝》

長谷川辰之助

長谷川辰之助

長谷川辰之助は、明治六年（一八六八）に高津村（土浦市高津）の酒造業広瀬家の三男に生まれました。二松学舎専門学校の前身である漢学塾で学んだ後、二十五歳の時に志筑村（かすみがうら市下志筑）の長谷川家に養子として入り、字を凸津、愛石を号としました。

志筑村には、百基以上からなる大塚古墳群やたくさんの縄文土器が出土する松延遺跡、そして国分寺の瓦を焼いた松山瓦窯跡など数多くの古代遺跡が所在することから、次第に愛石は自宅周辺を遺跡探訪する日々に明け暮れていきました。愛石の行動範囲は志筑に留まらず霞ヶ浦周辺に次第に広がっていき、石器を中心に採集するようになります。昭和四年に出された『石器時代の志筑村』は、遺跡の分布や採集遺物、そして地名や伝承などを基にして地区ごとの郷土史をまとめたもので、現在では確認できない情報が多数盛り込まれています。失われた遺跡や語り継がれなくなった伝承を記した愛石の著書は、志筑村の歴史を語る上で貴重な資料となっています。

愛石は、遺跡や遺物の収集と研究に明け暮れた人生を送りましたが、文章を草したり、和歌を読んだり、漢詩を作ったり、さらには画才に通じており、政治的な力にも発展しました。晩年には、志筑村農業協同組合の初代組合長、志筑村長などを任され、昭和一七年（一九四二）に七五歳で惜しまれながら没しています。

文芸ひろば

俳句

薄氷の岸に片寄る沼の風
春寒し岩に弾ける波頭
生木焚く音の弾けり冴返る
地虫出づ老いの持病の二つ三つ
春めきて粘土に移す掌のぬくみ
葦かげに釣竿揺れて春めきぬ
春めくや眼鏡二つを使い分け
三月菜香りしんしん母しのぶ

大塚隼人（新　治）
松村久子（稲吉東）
桜井愛子（中志筑）
鳥　海　力（下稲吉）
市原美代（土浦市）
折本アイ子（鹿ノ山）
萩原とし子（南根本）
松葉ふみ（内加茂）

短歌

朝朝に鏡に向かいくしけずる白髪多くなりしをながめ
大都会の人の波間を泳ぎきて真夜帰宅する闇の鄙道
九十歳の君を送りしは昨日にて今日九十翁の出版記念会
水引の羅列の花は夕日浴びルビーの如き光を醸す
季たがえ蕾ふくらみ紅さしし石楠花一夜の霜に萎えたり
亡き夫に守られている吾かとも「千の風になって」を歌ひつぎつつ
暖冬と言ふも冷え込む朝の庭春思はせる萬作の花
藁稭に結はへられたる白菜が鶯鳴きて目覚めたるらし
わが母は子が愛しさに忍従の一語に尽きる生涯を果つ
匂いたる春の息吹きに誘われて湖辺りをゆけば羽音賑わし
反抗期の孫の心をつかみたく心理の図書をあさく読む日々

畑百合子（上佐谷）
的場トシ子（上土田）
宮本和子（中佐谷）
目黒しづ子（稲吉東）
佐藤千代（宍　倉）
小貫弘子（牛　渡）
鈴木春雄（戸　崎）
矢口きぬ（下土田）
石塚延夫（上土田）
菅谷咲子（柏　崎）
角田合子（中志筑）